

# 平成〇〇年度農薬展示ほ（果樹）成績書

担当機関名：〇〇農業改良普及センター  
担当者名：〇〇〇〇

作物名：うめ  
対象病害虫名：黒星病  
展示農薬名：A剤  
展示目的：防除効果及び薬害検討

## 1 展示方法

実施場所：〇〇町△△地区  
面積：展示区25a 対照区20a  
耕種概要 品種名：南高 樹齢：6年 収穫日：青梅 6/10～  
完熟梅6/20～

## 2 処理時期、量、方法等

処理時期：平成28年6月1日（生育ステージ：果実肥大期（果実横径3～4cm））  
処理量：展示区：A剤 500L/10a 希釈倍率 1,500倍  
対照区：B剤 500L/10a 希釈倍率 2,000倍  
両区とも展着剤の混用なし

処理方法：動力噴霧器で散布

散布履歴：4/25 C剤 1,000倍 500L/10a  
" D剤 1,500倍 500L/10a  
5/4 E剤 2,000倍 500L/10a  
" F剤 1,500倍 500L/10a

## 3 対象病害虫の発生状況

散布前調査では微発生

## 4 処理前後の気象（神門）

月 日	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8
天 気	○	○	◎	○	○	●	●	●	●	●
平均気温	23.8	22.9	18.9	18.7	18.9	16.9	18.8	18.6	21.9	22.4
日降水量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	4.0	10.5	1.5	2.5

○；晴れ ◎；曇り ●；雨

## 5 調査時期、方法

散布前(5/30)、散布7日後(6/8)、散布16日後(6/17)に1樹30果×3樹、合計90果における発病果を調査し発病果率を算出した。薬害は随時肉眼観察した。

## 6 成績

区 別	農薬名	濃度 (倍) 量(L/10a)	調査 果数	発病果率 (%)			薬害
				散布前(5/30)	7日後(6/8)	16日後(6/17)	
展示区	A剤	1,500 500	90	0.8	2.2	2.2	なし
対照区	B剤	2,000 500	90	1.3	2.4	3.3	なし

## 7 考察、農家の意見など

①防除効果：対照区（B剤）と比較して  
（A：非常に高い B：高い C：同等 D：やや低い E：低い F：判定不能）

②薬 害：なし

③担当者及び農家の意見

担当者：対照区と同様に病果の増加は見られず、一定の効果があった。

農 家：今年は黒星病の発生が多いが展示区は比較的少ない。水への溶けが良い。

## 8 普及性

①普及性の有無：A：有 B：無 C：判定不能

②普及技術上の所見：他の薬剤と組み合わせた防除体系への組み入れを検討する。